JEAC4206-2007（原子力発電所用機器に対する破壊靭性の確認試験方法）に関するご質問に対するご回答

質　問	「原子力発電所用機器に対する破壊靭性の確認試験方法（JEAC4206-2007)」(以下、「本規格」といいます）附属書C により定められるPTS 評価手法においては、「C-3220 破壊靭性遷移曲線の設定」(2）に「対象とする原子炉圧力容器炉心領域材料の破壊靭性データ（照射前後のKIc 実測値等)」を使用して破壊靭性遷移曲線を設定することが規定されているところ、本規格上、KIc 実測値等としてWOL (Wedge Opening Loading）試験片で取得された実測値等を使用しても差し支えないと考えておりますが、よろしいでしょうか。
回　答	JEAC4206 附属書C-3220 で使用する破壊靭性データを取得するための試験片、試験方法については、JEAC4206 に要求事項は規定しておりません。したがって、JEAC4206 は、WOL 試験片等を含む特定の試験片で取得された実測値等の使用を禁止するものではありません。